



SUGAKICO

スガキコシステムズ株式会社

ラーメンとソフトクリームを中心とした「スガキヤ」、ラーメン専門店「寿がきや」など、東海・関西地方で広く知られる飲食店チェーンを展開しています。「お客様の生活にとってなくてはならない会社」を目指し、博多うどんの店「木村屋」や「一得庵」など新たな業態の出店も進めながら、常に新たな未来へ挑戦しています。

所在地：名古屋市中区丸の内一丁目16-2

設立：1946年3月

資本金：5,000万円

従業員数：2,445名(令和3年3月末)

URL：https://www.sugakico.co.jp/

(取材日：2022年2月)

POINT

ビジネスに併せて変化し続ける
システムの運用管理を
支え続けるJP1シリーズ

困ったときに頼れる！
アシストの「超」がつくほど
丁寧なサポート

JP1の運用課題や解決法を
解決へと導く
国内唯一の「JP1ユーザー会」

アシストのサポートをフル活用。 少数精鋭の情報システム部がJP1 で実現したシステム安定稼働とは

東海地方を中心に、ラーメン店チェーンをはじめとした様々な飲食事業を展開するスガキコシステムズでは、長らく2人体制で社内システムの運用を支えています。これを可能にしたのは、2004年から使い続けている統合システム運用管理ソフトウェア「JP1」です。アシストの支援の下、JP1のシステム運用製品を積極的に導入・活用してきたことで、少人数でも、システムの安定稼働やデータ活用の促進を実現しています。

課題

対策

効果

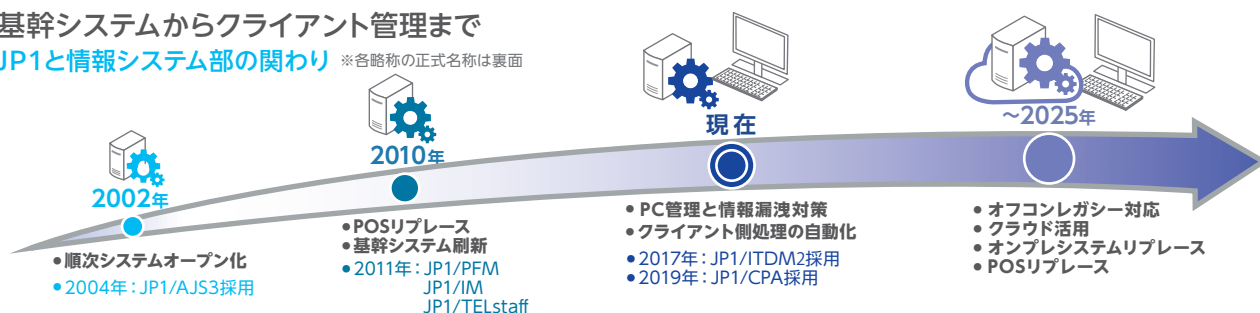
- 基幹システムからクライアント管理までの運用業務を、情報システム部員2名で担っており効率化が必要
- 自社内だけでは、課題解決方法の検討や情報収集に限界があった
- JP1採用後も、システム変更や技術の変化に対応するため、運用のノウハウをもっと知りたい

- バッチ処理を皮切りに、システムの変化に併せて監視やクライアント管理など、幅広い運用業務で「JP1」を採用
- アシストサポートセンターの「提案型サポート」を活用。JP1導入後も、アシストの営業や技術者から情報を継続的に収集
- アシストが運営する国内唯一の「JP1ユーザー会」へ積極的に参加

- 幅広い運用業務を、少人数で効率よく遂行
- システム運用課題の全般を、アシストに気軽に相談できる関係を構築
- 他ユーザー企業とも交流し、他社の取り組みを参考にしたシステム運用改善を推進

基幹システムからクライアント管理まで

JP1と情報システム部の関わり ※各略称の正式名称は裏面



JP1

「2人情シス」による システムの安定運用が課題

愛知県名古屋市に本社を構えるスガキコシステムズ株式会社（以下、スガキコシステムズ）は、ラーメンや甘味を扱う「Sugakiya」、ラーメン専門店「寿がきや」、揚げたて天ぷらと博多うどんの「一得庵」、博多うどん店「木村屋」など、東海地域を中心に幅広く飲食店チェーンを展開する企業。近年では、フードトラックによる出張販売などにも力を入れており、TwitterやInstagramといった、SNSによる情報発信にも積極的に取り組んでいます。

幅広く事業を展開する会社ですが、社内システムの企画・構築・運用を担う情報システム部門は、ほぼ2名の部員で業務をこなしてきました。2002年同社に中途入社した管理部 情報システムグループ マネージャー 佐橋修氏によれば、ここ20年の間で同社の社内システム、特にインフラやミドルウェア周りの運用の在り方はがらりと変化したといいます。

佐橋氏 私が入社した当時の社内システムはオフコンと経理、人事パッケージソフトウェアが中心で、システムの運用や監視も手動で行っていました。しかし、2002年からシステムのオープン化が始まりました。ファイルサーバやメールサーバの導入、POSシステムのリプレースなどの取り組みを矢継ぎ早に行ったことで、状況が一変しました。



佐橋修氏

当時導入したPOSシステムは、従来と比べかなりきめ細かな販売データを取得できるようになったため、データを分析・活用するためのデータベース基盤や、BIツールを使ったデータ分析環境を新たに整備することにしました。しかし、同時にシステムの構成や処理内容も大幅に複雑化し、扱うデータ量も飛躍的に増えるため、少人数による手作業ではとても管理が追い付かなくなりました。

安定したシステム運用管理を実現 するためJP1を導入

特にPOSシステムや基幹システムからデータを抽出し、分析用に加工する処理は、ツールによる

自動化を行わなければ、到底手が回らなくなると考えられました。そこで幾つかのジョブ管理ツールを比較検討した結果、最終的に同社が採用したのが「JP1」でした。

佐橋氏 もともと前職でJP1を使っていて慣れ親しんでいましたし、同じ前職でもアシストを通じてJP1とOracle Databaseを導入しており、その手厚いサポートには信頼を置いていました。そのためアシストからJP1を導入することに決めました。

こうしてJP1のジョブ管理製品「JP1/Automatic Job Management System 3」をアシストから導入したスガキコシステムズは、その後の大規模なシステム刷新の際にもJP1のシステム監視製品を導入。更に、クライアントPCのデバイス制御も実現できるIT資産管理ツール「JP1/IT Desktop Management2」や、クライアント上で実行している帳票処理や分析データ処理を管理するための「JP1/Client Process Automation」など、新製品も積極的に取り入れ、基幹システムからクライアント管理まで、幅広いJP1製品による盤石な運用管理体制を構築しました。

佐橋氏 2002年から今に至るまで、弊社のシステムは大幅な進化を遂げてきましたが、JP1とアシストの強力なサポートのおかげで、ずっとほぼ2人の情報システム部員だけで、システム運用業務を回し続けられています。

アシストの単なるQ&Aを超えた 「提案型サポート」を高く評価

システムの安定運用と効率化を実現した「アシストによる強力なサポート」について、佐橋氏は具体的に次のようなエピソードを話します。

佐橋氏 JP1製品の導入作業は、アシストにほぼ一任し、何の問題もなくスムーズに運びます。ただアシストの作業が他より良い点は、単に導入作業を行うだけでなく、必ず作業内容や設定項目をドキュメントで確実に残してくれることです。以前別のベンダーに作業を依頼した際には、作業内容が残っておらず、システムがブラックボックス化してしまうケースがありました。アシストに作業を任せるとからは、システム改修時にも正確な情報が把握できるので、とても助かっています。

また、導入作業時だけでなく、運用して何か

困ったときには、サポートセンターへの問い合わせも頻繁に利用しています。その際にも、いつも迅速に回答をいただけますし、要望が通らない場合も必ず代替案を提示いただけるのでこちらも大変助かっています。

アシストのサポートサービスは「3人目の情シス部員」のような存在だと、佐橋氏は語りました。

国内唯一のJP1ユーザー会で 生きたノウハウを吸収

また佐橋氏は、アシストが運営する国内唯一のユーザー会である「JP1ユーザー会」に発足当時からほぼ毎回参加しています。こうしたユーザー同士の情報共有の場を提供してもらえることも、アシストに対して高い信頼を置く理由の1つだと話します。

佐橋氏 情報システム担当が他に1名しかいないため、分からないことがあっても相談相手が限られます。しかし「JP1ユーザー会」はほかのユーザーさんの生の声が聞くことができ、生きたノウハウを豊富に吸収できる極めて貴重な情報収集源なので、積極的に参加しています。

なお今後も同社では、JP1を使ったさらなるシステム運用監視の高度化や効率化を進めていきたいとしています。例えば、今後は「クラウド化」に向けて、マルチクラウド環境で構築されたJP1と、オンプレの基幹システムとのハイブリッド運用になることが予想されています。また、メンバーの働き方に併せたシステム運用のアウトソーシング化なども視野に、よりわかりやすいシステム構築が必要になることもあり、アシストとJP1のサポートに期待するところは大きいといいます。

佐橋氏 近い将来サーバをリプレースする際にはJP1も最新バージョンにアップデートしたいと考えています。そのためにはやはりアシストさんのサポートが不可欠ですから、これまで通り弊社の「3人目の情シス部員」としてぜひ手厚いサポートを今後ともお願いできればと思います。

●各略称の正式名称

JP1/AJS3: JP1/Automatic Job Management System 3
 JP1/PFM: JP1/Performance Management
 JP1/IM: JP1/Integrated Management 2
 JP1/TELstaff: JP1/TELstaff AE Professional Edition
 JP1/ITDM2: JP1/IT Desktop Management 2
 JP1/CPA: JP1/Client Process Automation

お問い合わせは 株式会社アシスト



URL: <https://www.ashisuto.co.jp/enishi/> E-Mail: sk_info@ashisuto.co.jp

東京 〒102-8109 東京都千代田区九段北4-2-1 市ヶ谷スクエアビル	TEL:03-5276-3653	大阪 〒530-0011 大阪市北区大深町4-20 グランフロント大阪タワーA 13F	TEL:06-6373-7113
札幌 〒060-0003 札幌市中央区北3条西4-1-1 日本生命札幌ビル 16F	TEL:011-281-1161	広島 〒730-0011 広島市中区基町12-3 COI広島紙屋町ビル 3F	TEL:050-3816-0974
仙台 〒980-0013 仙台市青葉区花京院1-1-20 花京院スクエア 19F	TEL:050-3816-0970	福岡 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-6-1 九勸建築通ビル 9F	TEL:092-481-7156
名古屋 〒460-0003 名古屋市中区錦1-11-11 名古屋インターシティ 4F	TEL:052-232-8211	沖縄 〒900-0014 那覇市松尾1-10-24 ホークシティ那覇ビル 4F	TEL:050-3816-0976
金沢 〒920-0853 金沢市本町2-15-1 ボルテ金沢 8F	TEL:050-3816-0972		